

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

171

12月定例会

平成24年2月1日

たいわ町議会だより



寒さに負けずエイエイ
(空手協会 黒川支部)

12月定例会概要

2~3ページ

請願書

4ページ

地域経済と雇用の活性化 ほか 一般質問者8名

6~13ページ

研修レポート (議会運営委員会・各常任委員会)

14~15ページ

老人ホーム 今春オープン



12月定例会

(会期 12月13日～16日)

内 容

条例の改正や補正予算、人事案件等を慎重に審議しました。
一般質問者は8人の議員が、町の対応や考えを問いました。

一般会計補正予算での質疑

震災忘れるな

議員 震災記録は今後の防災を考える上で大事な資料となる。その内容は

総務まちづくり課長 行政区域にアンケートを実施し、その結果を分析し震災の記録をまとめる。

町民が納得する？

議員 議員が社長の大和流通への貸付はおかしいのではないか。

都市建設課長 国の基準を満たしている。公私は別と考える。

議員 町で助成している団体の代表に議員がなるのはいかなものか。

町長 すべてがよいと言う判断ではないが現段階では認められている範囲だと判断している。

復旧はいつ

議員 吉田地区の高倉林道が崩落し不便をきたしている。災害復旧工事の見直しは。

産業振興課長 国の査定終え、県の実設計の承認を待っている。承認を受けてから工事を発注する。

まち独自の支援策か

議員 半壊世帯に対する生活再建支援金は、町独自の施策か。

保健福祉課長 半壊世帯に町独自として一世帯25万円を支給する制度です。

震災ゴミいつまで

議員 震災ゴミの受付は12月28日で終了か。もう少し延長できないのか。

環境生活課長 申請受付は12月28日で終了。解体ゴミ受け入れは3月末日。

寄付の使い道は

議員 ふるさと応援基金2名から42万円の寄付があつたが、これまでを含めるといくらか。また、基金の使い道は。

財政課長 1名は40万円もう1名は2万円。これまでのと合わせると502,000円となる。一定の金額がまとまった時点で検討する。



震災ゴミ

まちに待った特別養護 「まほろばの里たいわ」

全議案可決

12月定例会での審議内容

条 例	結果	賛：反
大和町農業用施設等災害復旧事業分担金徴収条例の一部を改正	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町ダイナヒルズ公園の設置及び管理に関する条例に基づく施設）	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町緑地等利用施設の設置及び管理に関する条例に基づく施設）	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町七ッ森陶芸体験館の設置及び管理に関する条例に基づく施設）	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町四十八滝運動公園の設置及び管理に関する条例に基づく施設）	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町都市公園条例に基づく施設）	可決	17：0
指定管理者の指定（大和町認知症高齢者グループホーム条例及び大和町サービスセンター条例に基づく施設）	可決	17：0
その他	結果	賛：反
監査委員の任命	同意	14：3

補 正 予 算	結果	賛：反
一般会計	可決	15：2
特別会計	国民健康保険会計	可決 17：0
	介護保険会計	可決 17：0
	後期高齢者医療会計	可決 17：0
	下水道会計	可決 17：0
	農業集落排水会計	可決 17：0
	合併浄化槽会計	可決 17：0
水道会計	可決	17：0

臨時議会(11月24日)

- 職員等の給与の引き下げを行うため条例を改正
職員給与条例の一部を改正
(賛成 16：反対 1) 可決
- 特別職の給与条例の一部を改正
(賛成 17：反対 0) 可決
- 教育長の給与条例の一部を改正
(賛成 17：反対 0) 可決

宮城黒川地方町村議会議長会 自治功労者表彰

議員として多年にわたり、地方自治の振興発展に尽力された功績が認められました。



高平 聡雄 議員



秋山 富雄 議員



堀籠日出子議員

請願2件

請願書1 杜の丘地区内への公民館並びに防災センター建設に関する請願書

請願者 大和町宮床地区区長会会長 佐竹 勇雄
趣旨 杜の丘地域は近年加速的人口増大に鑑み、時代の急速な変化に機敏に対応した公共施設の建設促進は必須な条件である。公民館併用防災センターの早期実現を要望します。

請願書2 大和町スポーツ施設に関する請願書

請願者 大和町スポーツ少年団連絡協議会会長 相沢 義明

趣旨

- 一 大和町スポーツ少年団登録チームの、大和町施設利用の無料化と優先化
- 二 大和町総合運動公園内へ、県大会等の公式戦が開催出来る野球場の増設
- 三 大和町総合運動公園内グラウンドへ夜間利用出来る照明の設置
- 四 大和町総合運動公園内へ多目的屋内運動場建設
- 五 ダイナヒルズ野球場を、硬式野球の試合が出来る球場への改修



審査結果 委員会付託 賛成17 反対0
請願1は、総務常任委員会・請願2は社会文教常任委員会にそれぞれ付託され、今後調査されます。調査結果は議会（3月定例会）で報告され、採決される予定です。

請願取り下げ

9月定例会で付託された現区画整理組合事務所の存置延長にかかる請願は12月12日付けで取り下げ申出があり受理。

請願者 大和町吉岡南第二土地区画整理組合

代表理事長 本田 昭吾

取り下げ理由

組合と町との間で協議をし解決策を見出すことが適切と判断した。

陳情書

陳情書名

現区画整理組合事務所の存置延長に係る陳情書

陳情者 大和町吉岡南第二土地区画整理組合

代表理事長 本田 昭吾

趣旨 組合事務所敷地は、大和町との協定に基づき平成24年3月31日までを限度として使用を承認されていますが、組合の諸事情により、使用期限である平成24年3月31日を更に組合事業完成まで数年延長を願います。

人事

(審査結果 賛成14人・反対3人)

監査委員に

わたなべ ひとし
渡邊 仁氏を選任

三浦春喜氏の後任として渡邊仁氏を選任することに同意。



(任期は4年)



なじよなったの？ あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

いまだに進まず 子育て支援住宅を 造っては？

①平渡 高志 議員 (H21年9月議会)
宮床・吉田・鶴巣・落合・の少子化対策は。

町長
新規の住宅団地開発は難しい。人口増加の期待は出来ないが、地域への愛着をはかり流出を防ぐ。

②平渡 高志 議員 (H21年12月議会)
若者の定住を進めるには子育て支援住宅を造っては。

町長
子ども達が地域で成長しそのまま住み続ける住環境・子育て整備に取り組む。

③堀籠日出子 議員 (H22年9月議会)
減少しつつある地区の人口増をはかるため、定住促進住宅を。

町長
歯止めとして有効な手段



本町にもほしい子育て支援住宅 (色麻町)

実現します

旧役場跡地に保育園

H20年6月



H25年4月

質問
今のままでいいのか、大和町保育所。保育施設の拡充をはかれ

答弁
企業進出により定住者も予想されることから今後、公設民営など民間活用の導入も視野に入れ検討急ぐ

処理
平成25年4月 現大和町保育所が民設民営の「仮称・すぎのこ保育園」として開園予定



来年4月新しくなります。(大和町保育所)



伊藤 まさる 議員

もっと地元雇用を

町長 基本的に地元優先

議員 災害復旧には人（オペレーター）物（資機材）指揮官（経験者）の3セットが不可欠であり公共事業の従事者がいなくなるのは地域の安全、安心を確保する担い手が消える。命を守る公共事業の優先発注を前倒して実施しては。

町長 地域建設業は、地域経済・雇用を支え、インフラの維持管理や災害対応、除雪業務など地域社会に重要な役割を担っている。施策の実施に当っては、緊急性や優先性を見極める。

議員 雇用を活性化させて税収を増加させる事は急務だ。地元企業が適正な価格で仕事が取れる入札制度と地元業者優先の工事発注の取り組みは。

町長 地域貢献度、雇用者の居住地、町内業者の活用など地元業者を優先する点とし、消防団協力事業所も総合評価での加点の検討を進めている。特殊な技術を含む工事以外は、基本的に地元優先としている。

町の財産活用は 町長 売却を含め検討

議員 財政の健全化に向け、町がもっている不動産を賃貸運用や売却するなど有効に活用する必要があるのでは。

町長 旧警察署跡地や児童館跡地などの財産で利用が見込めないものは、売却を検討している。震災で財政が厳しくなってきたら有効活用をはかる。



急ピッチで進む公共事業

給食センターに測定器を

町長 安全性を確認している

議員 住民からの要望に応じ空間放射線量の「出前測定」を実施してはどうか。

町長 県から借りている簡易測定器1台と、町が買った簡易測定器1台を所有している。これまで数件の相談があり依頼に応じて測定を実施した。

議員 学校給食センターに食材の放射能測定器を配備しては。

町長 宮城県学校給食会や町の登録業者から、安全が確認された食材を購入している。納入業者が独自に行っている検査結果の情報などを収集し調達している。

もみじヶ丘の高齢化対策は

町長 町民懇談会などで声を聞く

議員 もみじヶ丘団地は、

同じ位の年齢層が殆んど同時期に入居している。これから同時期に定年退職など、高齢者が増えてくる。しかし、高齢者が集う娯楽施設もない。高齢者向けの対策をとることが出来ないのか。

町長 町の高齢化率は23年9月現在で19・63%となっている。健康で活動的に地域で生活できるよう、行政区単位での町民懇談会などの機会を利用し高齢者の声を聞く。

更に、地域社会活動に積極的に参加できるように高齢化社会対策を研究する。

杜の丘(大和町)と杜の橋(富谷町) 人気度は 町長 杜の丘は2倍売れている



人気ばつぐんの「杜の丘」

議員 夫 早 田 上

一般質問

議員 ここ3年間で「杜の丘」と「杜の橋」の新築家屋に差が出ているようだ。どこにその原因があるのか分析してみる必要があるのではないか。町として、もっと指導力を発揮できないのか。

町長 町の人口は、11月現在で26、026人となった。約3年前の3月から1、363人の増となり(内947人が杜の丘地区)町の人口増の大半が杜の丘への転入による。現在では「杜の丘」が「杜の橋」

の2倍売れている。引き続き住宅フェアを実施するようハウスメーカーに要請し、誘致企業の社員の町内居住促進を働きかけ、人口増に努める。

災害復旧の進捗は

町長 半分は次年度繰越



議員 しの ひろ 橋 はし 鶉 うずら

議員 震災需要の増大により、資材及び工事費の高騰や入札執行への影響が懸念されている。工事契約は順調に執行されているのか。落札率や工期を含めた契約上の課題は。

震災や台風災害で工事環境が大きく変化しているが一日も早い復旧の対応は。

町長 公共施設被害総額は15億2千万円に達している。国の査定を受け順次発注をしているが、下水道復旧後に道路施行となるため、約半数は次年度の施工となる。他の道路も半分は次年度繰越となり進捗率は69%。教育施設は4件で入札不調となり大手ゼネコンの協力を得、随意契約も検討している。

一般質問

また、予定価格に対する落札率も本年度は大幅に上昇している。災害復旧なので、早期契約による工事着手で早い復旧を目指す。

どうなる農地、水活動

町長 国の動きを見極める

議員 農地、水環境向上活動は本年度で終了となる。国ではこの事業を継続の方向と聞かすが本町では今まで取り組んだ地区を含めどう対応していくのか。

町長 県では年明け頃に需要調査に入るとのこと、本町でもその時期に要望費

調査を実施する。本対策は農地、農業施設の維持管理、延命化、地域活動効果が高いので24年度以降も今までの未実施の地区も含め国の予算編成動向を見極め取り組む。

安全な学校給食を

教育長 産地を確認し提供

議員 福島原発事故による学校給食用食材の安全性をどのように確保するのか。

教育長 給食センターでは食材を学校給食会と町登録業者から県で実施している測定結果や産地を確認し安全性を確かめている。



地域の輪が広がる農地水活動（沢渡地区）

土・日・祝日の児童

クラブ開館を

教育長 要望にあわせて対応

議員 近年は、土・日・祝日が平常勤務になっている職場が多く、共働き世帯などは子どもだけが留守家庭に居ることになる。安心して働くには子ども達の居場所づくりが必要だ。土・日・祝日の児童クラブ開館の考えは。

教育長 土曜日開館は、吉岡、もみじヶ丘児童館で月一回実施している。要望があれば他の児童館も対応を考える。

議員 休日開館は吉岡児童館、もみじヶ丘児童館と、どの地区からでも利用できるようにしてはどうか。

また、春、夏、冬休みの開館時間は9時から6時30分までとなっているが、時間延長の考えは。

教育長 休日開館は検討する。もみじヶ丘児童館は、8時30分開館となっているが他の児童館もニーズにあわせて対応する。

嘉太神ダム決壊の恐れは

町長 機能診断を計画



元気に過ごす子どもたち

町長 ダムがオーバーフローしないよう水位調整を行う。

議員 ダム決壊の危険性は、**町長** 専門的判断からダム決壊の心配はないものと判断している。

町長 築造55年が経過した。劣化によるコンクリートの一部が水漏れし応急処理を行った。24年度に機能診断を計画。28年度に機能診断劣化調査の工事が予定されている。

議員 土砂堆積のためゲリラ豪雨などで吉田川下流（吉田、鶴巣、落合）地域に水害の危険性が出るのではないか。

議員 嘉太神ダムは、大和町他2市4町村の吉田川水系農業用水と同時に防災的役割を果たすダムである。しかし、貯水量80万トに対して、土砂堆積量が30万トと推測され、現在の貯水能力は50万トを下回っていると推定される。

ダムの機能が果たされていないうえに、震災で経年劣化による被害が出た。対策は。



議員 子日出 ひとみ 籠掘 ほり



議員 高 平 としお 雄

想定した対策では不十分

町長 年度内に防災計画を修正する

議員 大地震、台風によるゲリラ豪雨など歴史的な大災害を経験したことで現在の防災計画に地域防災計画震災編・風水害編対策では不十分であり見直しが急務である。

防災無線のデジタル化移行時に個別受信機を全戸設置しては。

被災者の生活再建に向けた制度資金や義援金の分配状況は。

町長 大和町地域防災計画と災害行動マニュアル編の見直し、自主防災組織との連携及び至急資材の検討を優先して取り組むため、10月にプロジェクトチームを設置し年度内に防災計画の一部修正と防災マニュアル

を策定する。

防災無線のあり方を再検討する。ツイッターに防災無線の内容を掲載しているので活用してほしい。

義援金の分配は98%終了している。しかし、罹災証明の申請が続いている。

初参加「ゆるキャラグランプリ」

町長 サブローは245位

議員 B級グルメ、ゆるキャラ、ご当地ナンバープレートを利用した町おこしが全国各地で盛んに行われている。本町の取り組みは。

町長 イメージキャラクター「アサヒナサブロー」を「ゆるキャラグランプリ」に応募し、全国に紹介した。

結果は350体中245位であった。

B級グルメでは、鶴巢のそばと、吉田の舞茸を使った温かいそば「鶴の舞」を島田飴まつりで来場者に提供した。

ご当地ナンバーは先に導入した近隣自治体に問い合

わせてみたが導入当初に比べ効果が薄れてきているという。



もっと町をPRしてサブロー君

自治体間の災害協定を

町長 交流を深めていく

議員 全国の自治体の中には、災害に備え姉妹都市や

場など13ヶ所と協定を結んでいる。

サミットなどで交流のある自治体間で、「災害時相互

今回、神奈川県大和市、

応援協定」を結んでいる。協定を結び確かな支援関係を築き、災害時支え合うことが必要だ。災害に強い町づくりのためにも交流の多い自治体と協定を結ぶべき

鹿児島県大和村、新潟県見附市、静岡県湖西市から支援をいただいた。今後も災害協定を含め交流を深めていく。

と思う。

町長 災害時応援協定は宮

城「館」防災相互協定をはじめ県市町村、日本水道協会県支部、白石食品仙台工



ほり ぐめ ひで お 議員
堀 籠 英 雄

学校トイレの改善を

教育長 64基を洋式化する

議員

今回町内全校を調査した。掃除が大変なトイレ・臭いがひどい所・窓が全くないトイレがあった。また、地震等で壊れて使用禁止になっている所が数ヶ所あり早急な整備が必要ではないか。

教育長

小学校のトイレ掃除は児童と先生が一緒にやっている。一部でボランティアの協



良縁を求めての大人気の島田飴まつり（花嫁道中）

賑わいある街を

町長 誘客を考える

議員 吉岡の街が賑わうのはイベントを含め年に数えるだけ。農工商連携をはかり市街地の活性化について協議すべきではないか。

町長

吉岡地区商店街の活性化は大和町商店街の発展と思うので、リピート型の誘客を考える。

TPP 参加ストップ

町長 政府の情報不十分



議員 史 博 巻 藤

議員 TPPは、農産物も含めて全ての品目の関税をゼロにする協定だ。また、関税以外の貿易障壁撤廃を大原則とした協定であり、「食の安全」「医療」地方自治体の官公需への影響も懸念される。町への影響をどのように把握しているのか。

町長 町独自の試算はしていないが、農林水産省による試算では、わが国の食糧自給率が現在の40%から13%に急落する。

本町の農業は、TPP参加により外国産米が輸入されると日本の米が打撃を受ける。地域経済の鈍化、耕作放棄地の大幅な増加等が心配される。政府の情報はまだまだ不十分である。

一般質問

議員 町の対応は

町長 全国町村長大会でTPPへの参加に反対する決議を全会一致で採決したが町単独での要望より、町村会などの組織でまとまって対応する。

災害時障がい者はどこへ

町長 適切な誘導

議員 震災時に指定避難場所が使用できず、ひだまりの丘にも避難できなかった障がい者から、今後どこへ行けばいいのか不安がでてくる。その対応は。

町長 避難場所は小学校や中学校など21ヶ所指定している。高齢者と障がい者の避難所としては、ひだまりの丘を計画している。障がい者

を優先しての誘導が出来なかったことは課題である。今後、避難所の運営マニュアルを策定し、障がい者や介助の必要な方の適切な避難所への誘導と運営をはかる。



地域農業を守ろう

忠良さんを名誉町民に

町長 故人の意思を尊重したい

議員 本町出身の世界的な芸術家「佐藤忠良」氏が3月30日亡くなられた。忠良氏は、日本はもとより世界各国で芸術才能を認められた郷土が生んだ巨匠彫刻家である。

平成7年開館のまほろばホールに「佐藤忠良ギャラリー」を開設、展覧会、講演会など町の文化振興に多大なお力添えをいただいた。大和町民のかけがえのない偉大な忠良氏の偉業を後世まで伝えていくためにも名誉町民にする考えは。

町長 故佐藤忠良氏が町出身であることは、本町にとつて大変名誉なことである。

しかし、本人の意思で文化功労者、名誉都民、杉並区の名誉区民賞などの栄誉を辞退されている。告別式も近親者のみで行った。没後^{ぼつご}までもないことであり故人の意思を尊重したい。

若者定住促進住宅の建設を

町長 事例・効果を調査し検討



若者でいっぱいの若者促進住宅（長野県下條村）

議員 長野県の下條村は、出生率が全国第一位の村である。平成2年に人口が3、800人まで減少したが、現在の村長が就任後15年間で400人が増加した。その経緯として平成3年から18年までに若者定住促進住宅を10棟（124戸）1戸建て54戸・計178戸を建

設。結果、子どもの数が増加し、0歳から14歳が人口の16・7%を占め県下第一位となった。本町では、宮床・吉田・鶴巣・落合各小学校は年々児童が減少している。各地区に若者定住促進住宅を建設し、子ども達を増やす施策を実施してはどうか。

町長 町有地を活用した子育て支援住宅や定住促進住宅は大いに期待できる。各地区で地域を活性化する力が生み出され児童、生徒の増加も見込める。今後、事例や効果を調査し検討する。



議員 志高 渡平

研修レポート

議会運営委員会

御船町

町民とともに歩む議会、行動する議会、開かれた議会を目指す。

町民全体の福祉の向上を議会における討議により実現し、将来に向かって町民との約束を果たすため、議会基本条例を制定した。条例制定後、通年議会、全員協議会、委員会の毎月開催、議会だよりの毎月発行、あおぞら会議（井戸端会議）等を行っている。

【所感】常に町民とともに歩み、行動し、豊かな政策づくりを努めることにより、町民に信頼され開かれた議会を創ることが出来ると感じた。

視察地：熊本県御船町、芦北町
視察月日：12月20日～21日

視察者：高平聡雄委員長、秋山富雄副委員長、平渡高志委員、堀籠日出子委員、大崎勝治副議長、大須賀啓議長

視察目的：議会活性化の取り組み、議会運営全般

【御船町の概要】古くから地域の政治・経済・文化の中心地。県下屈指の醸造の町であり、有数の商都。また、恐竜化石が発見されたため、恐竜の里としても知られている。

人口は17,719人

【芦北町の概要】海・山・温泉など豊かな自然環境に恵まれ、美しいリアス式海岸を形成し、温暖な気候は、甘夏みかんやデコポンの産地として知られている。

人口は19,952人

芦北町

会議に関する情報を積極的に周知

議会が町民に対する説明責任を果たす情報公開の場であることを認識し、定例会の会議録を印刷製本し、年4回全行政区に配布している。

【所感】会議録は、殆どの町村でホームページに掲載しているが、見る人は特定されるので、配布も手法の一つと感じた。



報告者 平渡高志委員

社会文教常任委員会

長野県下條村

若者定住促進住宅

年々下がり続ける出生率に歯止めをかけるため、若者が定住する取り組みを始めた。平成2年度に人口3,800人まで減少したが、子育て支援や若者定住促進を積極的に進め10年間で出生率を1.8%から2.12%に改善した。

また、中学生までの医療費無料化や保育料の値下げ、若者定住促進住宅を建設し、安く提供する事で近隣市町村から多くの若者が定住するようになった。

【所感】本町でも宮床・吉田・鶴巣・落合地区の児童数が減少している。若者定住促進住宅は少子化対策。児童数増加に最善の施策であり、早急に取り組むべき課題であると感じた。

視察地：長野県下條村・群馬県南牧村
視察月日：11月16日～18日

視察者：堀籠日出子委員長、平渡高志副委員長、中川久男委員、桜井辰太郎委員、松川利充委員
視察目的：下條村では「出生率を伸ばす施策」、南牧村では「子育て教育と教育環境充実のための施策」



群馬県南牧村

子育て教育と教育環境充実のための取り組み

次世代を担う子どもたちを安心して育てられるよう「子育て応援条例」を制定し、子育て世代の増加、地域の活性化をはかっている。

条例内容は保育料と学校給食の全額免除、定住促進と人材育成支援。また、小中学生の休校日限定の乗り合いバス、タクシーのフリーパスポートを交付するなど特色ある施策や事業を展開している。

【所感】少子化対策には特色ある施策が必要と強く感じました。

報告者 堀籠日出子委員長

総務常任委員会

【視察地】東京電力[㈱]柏崎刈羽原子力発電所、新潟県小千谷市

【視察月日】11月15日～16日

【視察者】高平聡雄委員長、秋山富雄副委員長

中山和広委員、鶴橋浩之委員
伊藤勝委員

【視察目的】原子力発電所では、発電の仕組みや福島第一原発事故の状況、小千谷市では、自主防災組織の活動状況

柏崎刈羽原子力発電所

福島第一原子力発電所事故後の措置

館を海拔15mの防波堤に2013年6月まで設置する。これを取り越えた場合も想定し、建屋の周りをコンクリートの壁で囲み水がはまらないようにするための工事を行う。

併せて2012年9月までに原子炉が冷却機能を失った場合の注水の溢れを貯める貯水池も設ける。現在、1、5、6、7号機営業運転中。

【所感】原子力発電所の事故は絶対起こらないことが大前提であるので、事故状況の分析、評価を進め、



更なる安全対策を講ずるべきと思う。また、原子力に頼らない発電の推進も必要である。

新潟県小千谷市

自主防災組織100%

中越地震当時(平成16年)は50%に満たない組織率であった。震災を契機に、組織しやすいように防災資器材の整備に対する補助制度の確立と災害時は、消防や警察に頼れないので、1、2週間の時間単位を地区民が協力して災害を乗り越えることを教え、現在100%の組織率となっている。

【所感】住民一人ひとりが自主防災組織の必要性を認識し、災害時は地域が一丸となって災難を乗り越えるということを教えることが大切と感じた。自然災害に対する普段からの備えと、地域の絆の大切さを実感した。

報告者

秋山 富雄 副委員長

産業建設常任委員会

【視察地】全農東日本米穀販売事業所・宮城ふるさとプラザ(東京) 小川町議会(埼玉県)

【視察月日】11月14日～15日

【視察者】大友勝衛委員長、浅野正之副委員長、大崎勝治委員、馬場久雄委員、堀籠英雄委員、藤巻博史委員

【視察目的】①全農東日本米穀販売事業所では「米穀情勢と宮城米の販売状況」②宮城ふるさとプラザでは「宮城県産品の販売動向」③小川町議会では「有機農業の推進と町の活性化」

全農東日本米穀販売事業所

【宮城米の販売状況】

①「ひとめぼれ」
宮城米の主要品種として大手量販店やコンビニ等の販売をはかる。

②「ササニシキ」
生協、量販店や寿司店などの業務用向けの固定需要銘柄となっており、早期契約をはかる。

③「まなむすめ」
業務用向けの代表銘柄として業務用実需者への推進及び新規需要者への開拓をはかる。

宮城ふるさとプラザ

【宮城県産品の販売動向】

JR池袋駅東口で生鮮・加工品、米、菓子など宮城の物産品約1、300種類を販売している。

震災以降は支援のために被災地の品物を買う動きがあり4・5・6月の売り上げは8千万円で、昨年実績の倍、外まで客が並んだ。

小川町議会

【有機農業の推進と町の活性化】

平成20年までの8年間で新規就農は9人で内8人は有機農業である。小川町の認定農業者38人のうち10人26・3%占めている。また、遊休農地解消4haの内2・2haが有機農業であった。

【所感】有機農業は賛同者を徐々に増やして更に販路も拡大してきている。その中で研修生の受入れや、新規就農者も生まれている。有機農業が中心になる環境整備に注目したい。

報告者 藤巻博史委員



見晴らしの丘公園(小川町)



小野小学校 六年
佐々木杏奈さん

大好き!! 大和町



吉田小学校 六年
碓井 大斗くん

僕の好きな大和町

大和町で僕の好きな場所は三つあります。一つ目は、八志田堰です。二つ目は、吉岡八幡神社です。三つ目は、石神山精神社です。

なぜかという、総合的な学習の時間に僕は、大和町の歴史について自ら課題を設定し、各地域のよさを学び、気付いたからです。その中でも僕は、自宅の後ろを流れている八志田堰に興味を持

ちました。そして、野原や谷地を開田した先人の足跡を調べました。すると、八志田堰は、今から約四百年前に、八志田の右馬助の志によってつくられ、僕の家の水田も、その水路の恩恵を今に受けていることが分かりました。先人の苦勞を知ったことで、地域の歴史を深く学ぶことが出来ました。これからも、大和町の好きな場所を増やしていきたいです。

大和町に住んでみてよかったこと

私は、大和町に住んでいてよかったなと思うことがあります。それは空気がキレイで自然が豊かなことです。

私は、街中のガソリン臭いにおいがキレイです。なので街中から帰ってきたとき、心が軽くなります。そして、ビルが少ない大和町は緑が多く自然が豊かで夏、秋になると毎日

虫の音が絶えません。でも、ちよつと自然が豊かすぎて、クマが出たりシカが出たりしますがそれもある意味大和町のいいところだと、私は思っています。これから私が大人になってもまだ、空気がキレイで自然が豊かな大和町であってほしいと思います。

秋田県美郷町議会来庁



昨年11月8日に、秋田県仙北郡美郷町議会議員7名、職員2名、計9名が本町の議会だよりの編集方法、議会運営について視察に来庁した。

編集後記

一年を振り返って

3月11日の東日本大震災から10ヶ月。東北地方沿岸部に想定外の地震と津波が発生し、未曾有の災害に遭い忘れられたことのない年になりました。全国で15、844人の死者と3、468人の行方不明者が出ました。更には、福島原子力発電所事故により、大規模な放射性物質の汚染地域も出ました。国に早急な除染や賠償救済策等強く要望、一日も早い復旧・復興を切望します。

広報編集委員 秋山 富雄

議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。場所は役場3階です。

次回定例会は
2月27日(月)から
3月9日(金)までの予定です。

大和町議会事務局
☎ 022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報調査特別委員会

編集発行責任者

議長 大須賀 啓

編集委員

委員長 堀籠 英雄
副委員長 平渡 高志
委員 堀籠日出子
委員 秋山 富雄
委員 伊藤 勝
委員 藤巻 博史

